

第4学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和7年11月21日 5校時
4年4組 33名

1. 単元名 「もちもち茶屋を開こう」

2. 本時のねらい

白玉作りについて探究してきたことを生かし、実際にみたらし白玉を作り活動の楽しさを味わうようにする。

3. 教師の願い

- おいしい白玉を作りたいという思いをもち、探究してきたことを白玉作りに生かしてほしい。
- 友達や参観者と、すすんで関わってほしい。

4. 前時の様子

前回まで、白玉とみたらしの作り方を練習し、見た目も味もより良いものを作るための計画を班で相談して作成している。

5. 本時の展開 (25/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等 評…評価
見た目も味も良いみたらし白玉を完成させる。	
1. 本時でやることを確認する。 C: 味も見た目もいい白玉を完成させたい。 C: 計画通りに上手に盛り付けをしたい。	○見通しをもって計画的に取り組むように声掛けをする。 ○火傷をしないように注意して行動するよう促す。
2. みたらしをあたため直し、盛り付けを行う。 C: 計画みたいに作ることができた。 C: みたらしが固まり盛り付けにくい。 C: 白玉が小さすぎて盛り付けにくい。	○焦らず、順番を守って安全に行動するよう促す。 ○衛生面に気を付けるために、手洗いをしっかり行うことやビニール手袋を使用することを確認する。
3. 完成したみたらし白玉を食べる。 C: 美味しい! C: お店みたいにできた。 C: これならお母さんに食べてもらえる。 C: 他の班も工夫していて、おいしそう。	○食べる際に、今までの活動で出た課題を伝え、自分のグループのみたらし白玉がその課題を解決しているかを考えられるようにする。
4. 自分の感想をロイロノートに記録し、これからの学習で行いたいことを考える。 C: 見た目: 98 点。今までで一番きれいな丸になった。でも、形が崩れたものもあったので、全部きれいに作りたい。 C: 全部: 100点。完璧に作れた! お店みたいな見た目になった。	評 自分が探究したことを生かしてみたらし白玉を作るために、自分なりに考えながら行動している。 【思・判・表】(観察・ロイロノート)
5. 片付けをする。	○今までの自分の作った白玉を振り返り、今回の自分たちの成長に気付けるようにする。
6. 全体で本時の活動を振り返り、次時の計画を立てる。	○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。